

都立国際高校 年間授業計画 / Tokyo Metropolitan Kokusai High School Course Syllabus

○ 科目基礎情報 (Course information)

開講年度 (Academic year)	令和7年度 (2025年度)
開講学科 (Department)	国際学科国際バカロレアコース / IBDP(International Baccalaureate Diploma Programme)
教科 (Subject Area)	言語B
科目 (Subject)	Japanese B SL
学年・クラス (Grade・Class)	3年 (DP2)
単位数 (Number of units)	3
使用教科書 (Text Books)	『中級日本語カルテット』 (The Japan Times) 『クローズアップ日本事情』 (The Japan Times)
校外学習 (Field trip)	なし

○ 教科の目標 (Goals of the subject area)

<p>【知識及び技能】 (Knowledge and Skills) 日本語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (Ability to think, make judgements, express themselves) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、日本語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (Motivation to learn, Humanity) 日本語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に日本語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>

○ 科目の目標 (Goals of the subject)

【知識及び技能】 (Knowledge and Skills)	【思考力、判断力、表現力等】 (Ability to think, make judgements, express themselves)	【学びに向かう力、人間性等】 (Motivation to learn, Humanity)
<ul style="list-style-type: none"> 様々な場面や目的に応じて言語を選択し、明確かつ効果的にコミュニケーションを図ることができる。 様々な場面や文化的文脈、聞き手/読み手に応じて適切に言語を理解し、使い分けができる。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて情報を整理しながら日本語で自分の考えを流暢かつ正確に表現し、応答することができる。 様々な話題についてテキストを批判的に読み、自分の考えを認識・構成・提示できる。 	<ul style="list-style-type: none"> テキストの学習や対話を通して、様々な文化を持つ人々の多様な視点に気づき、それを認めあう気持ちを育てる。 他者とコミュニケーションをとり、協働しながら多様なテキストを探究することができる。 言語の探究を通して、学習へと向かうための力 (ATLスキル) を確実に身につける。 好奇心や創造性、生涯にわたって言語を学ぶ楽しさを涵養する。

○ 授業計画 (Course schedule)

単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	領域		評価規準 Evaluation Criteria	知 ①	思 ②	態 ③	配当 時数
		語 書	読					
<p>*オリエンテーション</p> <p>「かけがえない地球」</p> <p>【知識及び技能】 多様なテキストに触れ、語彙、表現の理解を深める。コミュニケーションをとる相手 (読み手) に適切な言語使用をする必要があることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 アイデンティティの形成にかかわる言語、文化、地域制等の役割について思考を深め、自分の考えを文章や口頭で伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 テキストの学習や対話を通して、様々な文化を持つ人々の多様な視点に気づき、それを認めあう気持ちを育てる。他者とコミュニケーションをとり、協働しながら多様なテキストを探究することができる。</p>	<p>最終試験までの予定、ATL、5つの探究テーマ、言語Bにおける「概念」、評価についての説明</p> <p>・多文化共生社会を目指して「日本に滞在する外国人が経験する言葉や習慣の違い」「多文化共生のためにどのようなことが必要か」</p> <p>テキストタイプ 日記、Email、手紙</p> <p>リスニング練習</p> <p>個人口述試験練習</p>	○	○	<p>① 【知識・技能】 ・テキストの内容を正確に理解している。 ・ Paper 1、口頭発表において適切に多様な語彙・文法を使用している。 ・ リサーチの際、適切な資料が見つけれられる。</p> <p>② 【思考・判断・表現】 ・ Paper 1、口頭発表において適切なテキストタイプ、語彙表現を用いて効果的に考えを提示している。 ・ タスクに必要な情報が含まれ、論理的で内容が明確な成果物になっている。</p> <p>③ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ テーマ探究学習を通して異文化理解を深めている。 ・ 話し合いや発表に積極的に参加している。 ・ 自己評価・ピア評価により振り返り、スキルを向上させる努力をしている。</p>	○	○	○	42
<p>「芸術表現」 (人間の知恵、経験)</p> <p>【知識及び技能】 多様なテキストに触れ、語彙、表現の理解を深める。コミュニケーションをとる相手 (読み手)、状況に応じて適切な言語使用をする必要があることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 様々な芸術表現への理解を深め、創造的思考力育成の機会を与える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な文化を持つ人々の多様な視点に気づき、それを認めあう気持ちを育てる。他者とコミュニケーションをとり、協働しながら多様なテキストを探究することができる。</p>	<p>「芸術表現から、その文化についてどのようなことが学べるだろうか」</p> <p>・日本の伝統的な芸術にはどのような特徴があるか。日本人の美意識はどのようなものか。 ・芸術はどのように社会を反映しているか。 ・国や地域によってどのように芸術の形態が異なるか。 ・人々はどのように芸術を解釈、評価しているか。 ・芸術は私たちの生活をどのように豊かにするか。</p> <p>Paper 1 練習 テキストタイプ 新聞記事</p> <p>リスニング練習 読解問題</p> <p>個人口述試験 Mock exam</p>	○	○	<p>① 【知識・技能】 ・テキストの内容を正確に理解している。 ・ 作文、口頭発表において適切に多様な語彙・文法を使用している。 ・ リサーチの際、適切な資料が見つけれられる。</p> <p>② 【思考・判断・表現】 ・ Paper 1、口頭発表において適切なテキストタイプ、語彙表現を用いて効果的に考えを提示している。 ・ タスクに必要な情報が含まれ、論理的で内容が明確な成果物になっている。</p> <p>③ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ テーマ探究学習を通して異文化理解を深めている。 ・ 話し合いや発表に積極的に参加している。 ・ 自己評価・ピア評価により振り返り、スキルを向上させる努力をしている。</p>	○	○	○	

Allotted hours

1学期 (1st semester)

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	領域			評価規準 Evaluation Criteria	知 ①	思 ②	態 ③	配当 時数
			話 題	書 読	読					
2学期 (2nd semester)	<p>【知識及び技能】 多様なテキストに触れ、語彙、表現の理解を深める。日本語の中にも違い（バリエーション）があることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 社会的な話題について複数の資料から得た情報を整理し、自分の考えをまとめて適切に表現したり、伝えあったりできる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 テキストの学習や対話を通して、様々な文化を持つ人々の多様な視点に気づき、それを認めあう気持ちを育てる。他者とコミュニケーションをとり、協働しながら多様なテキストを探究することができる。</p>	<p>これまでに扱ったトピックの復習と振り返り</p> <p>最終試験に向けた演習</p> <p>・Paper 1 言語Bにおける概念、テキストタイプの復習</p> <p>・Paper 2 リスニング練習、読解練習</p> <p>・漢字、語彙、文法の総復習</p>	○	○	○	<p>①【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストの内容を正確に理解している。 ・作文、口頭発表において適切で多様な語彙・文法を使用している。 ・リサーチの際、適切な資料が見つげられる。 <p>②【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Paper 1、口頭発表において適切なテキストタイプ、語彙表現を用いて効果的に考えを提示している。 ・タスクに必要な情報が含まれ、論理的で内容が明確な成果物になっている。 <p>③【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ探究学習を通して異文化理解を深めている。 ・話し合いや発表に積極的に参加している。 ・自己評価・ピア評価により振り返り、スキルを向上させる努力をしている。 	○	○	○	48
		最終試験								
3学期 (3rd semester)	<p>【知識及び技能】 多様なテキストに触れ、語彙、表現の特徴を知る。日本語の表現から季節感、日本人が持つ自然への思いに気づく。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを整理し、口頭や文章で適切に表現したり、他者に伝えたりできる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 テキストの学習や対話を通して、様々な文化を持つ人々の多様な視点に気づき、それを認めあう気持ちを育てる。また自らも音読や創作を通して日本語の表現を楽しむ。他者とコミュニケーションをとり、協働しながら多様なテキストを探究することができる。</p>	<p>俳句や詩の朗読、創作</p> <p>日本映画の鑑賞、批評文の執筆</p> <p>書道体験</p>	○	○	○	<p>①【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストの内容を正確に理解している。 ・リサーチの際、適切な資料が見つげられる。 <p>②【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の鑑賞、朗読により感じたことを適切な言葉でまとめることができる。 ・様々な表現方法を用いて創作ができる。 <p>③【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究学習を通して異文化理解を深めている。 ・活動に積極的に参加している。 ・自己評価・ピア評価により振り返り、力を高めようとする態度が見られる。 	○	○	○	24

総授業時数 Total hours	114
----------------------	-----